



2021 年度 東京医科大学

【 講 評 】

大問構成は昨年度と同様 5 題。大問 1 がアクセント、大問 2 が適語補充、大問 3 が語句整序、大問 4 が空所補充と語義類推を中心とする長文読解、大問 5 が内容一致を中心とする長文読解であった。大問 5 の B では昨年度に引き続き記述問題が出題された。大問 2・大問 3 は例年通り、単語・熟語・定型表現の知識を前提とする問題であり、基本的な知識を確実に暗記・理解しておくことが重要である。大問 4 は選択肢が先頭の動詞によって分類されて並んでおり、例年に比べて取り組みやすい。

【 解 答 ・ 解 説 】

I

1. ⑤ 2. ④ 3. ④ 4. ① 5. ④

II

6. ②

Iron deficiency は鉄欠乏症。anemia は貧血、developmental delay は発育遅延、growth retardation は発育不全を意味する。これより bring about~「~を引き起こす/もたらす」を選ぶと文意が通る。

7. ③

on the verge of ~で「今にも~しようとして；~の間際で」という意味の熟語。

8. ⑤

significantly は「顕著に；大いに」という意味の副詞。

9. ①

aspiration は「願望；大志」の意味の名詞。

10. ①

linger は「後に残る；なかなか消えない」という意味の動詞。

III

a. ①・②

The release of the balloons (had been timed to coincide with) the Prime Minister's arrival.

The release が主語で動詞が無いので並び替え部で動詞を作ること意識し選択肢を見ると、been、had、timed といった語から had been timed という過去完了形・受動態の形が作れることがわかる。time は動詞で「(出来事に最適な) 時間を決める」という意味がある。今回主語にあたる人物(決める人)がないので、受動態の文になることがわかる。また、coincide が不定形なので to coincide と並ぶのが適切だともわかる。coincide with ~で「~と同時に起こる、~と一致する」という意味があるので、覚えておくと良い。

b. ⑤・⑥

They (decided to indulge themselves with a) luxurious full-course dinner starting with a champagne toast to celebrate their anniversary.

indulge ~で「~を甘やかす、ほしいままにさせる」という意味がある。自動詞の用法もあるが、今回は themselves が選択肢にあるので、themselves を目的語に他動詞として使うと判断する。動詞で decided が残るので、They indulge ~と繋ぐより、They decided to indulge ~とするのが良いだろう。luxurious full-course dinner が単数なので冠詞 a をつける。

c. ①・③

A detailed explanation of the different types of tests (is beyond the scope of this) introduction to medical statistics.

A detailed explanation ~ tests が主語になるのでこれに対して動詞を設定するが動詞は is だけで、この補語には scope が来る。scope には「(行動・思考・知覚・調査などの) 範囲・領域」という意味がある。Scope の意味より、前置詞 beyond は scope の前に置くのが適切だろう。the と this の選択を迷うかもしれないが this が A detailed explanation を指すことを考えると、上の順序になるだろう。

d. ③・④

Due to the prolonged inflation, the family had (trouble making both ends meet with) their low income.

make (both) ends meet で「生活の収支を合わせる、収支の範囲でやりくりする」という意味のコロケーション。これを覚えていればかなり解きやすかっただろう。並び替え前の had が並び替えの選択肢より、助動詞ではなく一般動詞の have だとわかり、目的語が必要だとわかるので、trouble が導ける。

e. ②・①

They were in a hurry, so (they had to make do with) quick sandwich for lunch.

make do with で「~で済ます、~で間に合わせる」という意味のコロケーション。こちらも上記の問題と同様、このコロケーションを知っているとわかりやすかっただろう。前後より、並び替え内で完全文を作らなければならないことがわかれば、they が主語、had to make、といった語の並びができるだろう。

IV

A.

フレーズ補充問題。選択肢が4つずつ、are 群・has 群・have 群・is 群・was 群に分かれていたので、主語や時制から絞り込む。解説の便宜上、左から A・B・C・D・E 群とする。

21. ⑨

主語が複数なので A・C より選ぶ。選択肢内の all などヒント。

22. ⑩

主語は he なので B・D・E より選ぶ。また、but 以降に when he was 41 ~とあるので時制を考え、D を除外。but 以降に、41 歳の時に耳が完全に聞こえなくなったとあるので、それまではやや聞こえていたことがわかる。

23. ①

主語は workers なので A か C。直後に now とあるので時制を踏まえて A から選ぶ。一行後に masks とあるので判断できる。

24. ⑪

形式主語なので主語からの絞り込みはできない。直後に when he's (= he has) missed とあり完了形が使われているので、A や D ではないと判断。there has been times で「～なこともあった」という意味になる。

25. ⑦

主語は she なので B・D・E より選ぶ。また、内路に～since she was 23 とあるので完了形の B より選ぶ。Most sounds を目的語と取るのは hear が適切だろう。

26. ⑰

主語は I なので C が E。会話文中に emergency とあるので、判断に用いると良い。

27. ⑱

主語は sign language なので B・D・E より選ぶ。一行前に The thinking behind it was ~とあるので D ではないだろう。段落より、昔は口話、つまり読唇術や発話トレーニングに重きがおかれ、その逆で手話は学ばれていなかったことが読み取れると良い。

28. ⑭

主語は関係代名詞 what が作る名詞節なので B・D・E より選ぶ。～and can only ~とあるので現在形の D と推測。

29. ⑯

主語 everyone は 3 人称単数扱い。また、直後に now とあるので、D より選ぶ。

30. ⑬

主語は *it* なので B・D・E より選ぶ。and 以降 *his colleagues help him* ~とあるので時制は現在形だと考える。*the finer movements* を目的語と取るのは *see* が適切だろう。

31. ⑤

主語は *he* なので B・D・E より選ぶ。*devise* は「~を工夫する」という意味なので、目的語 *ways* を取るのに適切である。

32. ⑮

主語は *it* なので B・D・E より選ぶ。また、*When I'm (I am) talking* ~とあるので時制は現在形と考え、D より選ぶ。

33. ③

主語は *we* なので A か C より選ぶ。*When we say* ~とあるので時制は現在形と考え、A より選ぶ。*refer to* ~は名詞を取るなので、直後に *a variety of levels* と来るのも、適切である。

B

イ. ③

この問いは推察というよりも双方の単語の意味から類似語と判断したい。

ロ. ③

Certificate が「証明書」という意味を持つので、証明書は *hold* するのが最も適切だろう。*applicants* だと志願・応募している状態の人になってしまうので不適。

ハ. ①

make out で「理解する」という意味のコロケーション。*discern* も「理解する」という意味。下線部一行上の *it's hard to hear others* などからも推察できる。

ニ. ③

下線部の前文でビデオ越しの会話について述べているので、下線部はそれとは対照的に直接の、面と向かった会話について述べていると推察できる。よって③。

ホ. ①

本文全体の内容や、下線部後の文の *hearing loss* ~などから、聴覚障害について述べているとわかるだろう。

C

ヘ. ③

本文 2~4 行目の *people with hearing difficulties* ~*saying* で耳の不自由な人がコロナ禍でのマスク着用により読唇術ができなくなっていることが述べられており、[ヘ]と *difficulty* が並列になっていることから、③が最も適切と言えるだろう。

ト. ④

voice ~で「~を表明する」という意味がある。

チ. ①

①consciously と④separately でやや迷うかもしれないが、ここでは一人に集中するのであって、別々に（それぞれに）集中するという意味ではないので①が最も適切だろう。

リ. ④

utter には「(声を) 発する、(意見などを) 述べる」という意味がある。Clutter には「取り散らかす」、flutter は「はためく」、shutter には「雨戸を閉める」という意味がある。難しかったかもしれないが、比較的わかりやすい fluttered や shuttered を消去法で消していきたい。

D

ヌ. ⑤

hard of hearing で「耳の遠い、難聴の」という意味のコロケーション。内容面でも、完全に耳が聞こえないわけではなく、耳が遠いというニュアンスなことに注意。

ル. ⑧

mix up で「混乱する、混同する」という意味。セットで覚えよう。

へ. ②

at a glance で「一見しただけで、一目見て」という意味。こちらもセットで覚えたい。

V

A. ③, ⑨, ⑪, ⑭, ⑯, ⑱

① : Dr. Nguyen の行動については第 1 段落に述べられているが、仕事に行きそびれたという記述はないため誤り。

② : 第 2 段落、また第 3 段落第 2 文にある通り、チャット形式の診察は利便性を増しているため誤り。

③ : 第 2 段落最終文に「消費者は指先一つですべてのサービスにアクセスができるということに慣れてきている」とあるため③は正解。

④ : 第 3 段落第 1 文に「チャットによる診察は怪我や軽い病気に対応する」旨が述べられているため、to life-threatening emergencies とある④は誤り。

⑤ : 本文に記載がないため誤り。(顧客はバスに乗っているときや食料品店で並んでいるときにチャットをすることができるという描写のみ)

⑥ : 第 5 段落に、「メッセージ診察アプリの提供者たちは、必要であれば直接医師に診断してもらうことを勧める」とあり、その具体例が続くため誤り。

⑦ : 第 5 段落第 2 文目にある事例では、85 歳の女性は胸の痛みのみを訴えているため、headache の記述が誤り。

⑧ : 第 5 段落第 3 文目にもあるように、医師は体温や血圧の測り方を教えるわけではない。

- ⑨：第 5 段落最終文に「アプリの提供企業は、80%以上の相談はメッセージのやり取りのみを通して解決できると推定している」とあるためこの選択肢は正しい。
- ⑩：第 6 段落に無料でオンライン診断を利用できるのは医師ではなく患者であるため誤り。
- ⑪：第 7 段落第 2 文目に「Dr. Nguyen はダイニングに座り、複数の患者とのやりとりをいったりきたりしながらスマートフォンをタップしている」とあるためこれは正解。
- ⑫：第 7 段落中盤より、メキシコに旅行中の女性から相談されたのは彼女自身のことではなく、6 歳の息子のことでありとわかるため誤り。
- ⑬：第 7 段落最終文で、医師は子どもに水を必ず飲ませるように母親に伝えているため limit が誤り。
- ⑭：第 8 段落「I think patients will ~」以降の部分で選択肢 14 と同じ内容が述べられているためこれは正解。
- ⑮：第 9 段落より AI は患者への質問を考えて医師に伝える役割を果たし、診断や治療内容を決めるのは医師とあるため誤り。
- ⑯：第 10 段落に「医師は診察や治療を提供するだけでなく、並んだ簡単な質問にも答える」とあるため正解。
- ⑰：第 11 段落には、メールは処方箋の詰め替えや補足の質問によく使われるとあり、他の種類の薬の要求や次の診察の予約のみのために使われていたわけではない。
- ⑱：第 12 段落において「頻繁に膀胱感染症の処方箋を求める患者は実は癌の検査が必要かもしれない」とあることから正解。
- ⑲：第 13 段落第 1 文目より、「各社は抗生物質の処方率を監視し、他の予防措置をとる」とあるが、抗生物質の利用を禁止しているわけではないので誤り。
- ⑳：第 13 段落終盤で、「オンライン診療サービスを提供する企業は、特に患者がかかりつけ医に診てもらえないときに助けてい」と述べていることから、既存の医療にとって代わりたいという記述は誤り。

B. メッセージ機能などを搭載したオンライン診療アプリを通じて、自宅から複数の患者の診療をする働き方。

以上